

あま市教育大綱



(素案)

令和3年12月現在
愛知県あま市

あま市教育大綱の策定にあたって

本市では、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の改正（平成27年4月1日施行）に伴い、地域の実情に応じた教育、学術及び文化の振興に関する方針として、平成28年3月に「あま市教育大綱」を策定いたしました。

「あま市教育大綱」に則り、生涯にわたって主体的に学び続け、教育の使命をまちぐるみで共有し、市民一人ひとりが教育にかかわる楽しさと豊かさを実感できる教育環境の実現に向け、市長及び教育委員会がそれぞれの役割を十分に認識し、連携を進めながら教育行政を推進してまいりました。

しかしながら近年、IoTやビックデータ、AI等をはじめとした技術革新などの社会状況の変化やグローバル化、格差問題、一人親世代の増加や教員の負担増加など教育をめぐる状況変化により、教育環境は大きく変化しております。また、甚大な災害や新たな感染症の発生は、教育環境へ大きな影響を与えることが想定されます。

これら教育環境の大きな変化や影響を受け止め、まち全体で課題を解決に導くため、自ら主体的に判断し、共生と協働により新たな価値を創造することができる人づくりが重要となります。

本大綱は、「第2次あま市総合計画」と整合性を図り、教育はあま市の未来を創り出す原動力であるという「教育立市」の理念の実現と、あま市らしい人づくりを進めるため、6つの施策を定めております。

今後も教育委員会と協議・調整を行い、十分な意思疎通を図り、本市の教育に関する課題や教育の目指すべき姿を共有し、教育行政を推進してまいります。

令和3年12月現在

あま市長 村上浩司

あま市の人づくり

未来を担うのは子どもたちであり、教育はあま市の未来を創り出す原動力であるという「教育立市」の理念の実現を進めるまちづくりを目指し、学校・家庭・地域の連携のもと、まち全体であま市の児童生徒を育み、生涯にわたって主体的に学び続け、自らの判断と責任で地域の課題に取り組むことができるあま市らしい人づくりを進めていきます。

大綱の期間

令和4(2022)年度から令和13(2031)年度までの10年間

第Ⅰ期 令和4(2022)年度から令和8(2026)年度

第Ⅱ期 令和9(2027)年度から令和13(2031)年度

6つの施策

施策1 学校の教育力を充実させ、あまっ子[※]の学ぶ力を高める

教職員が自らの力を伸ばし、学校の教育力を充実させることなどにより、あまっ子の学ぶ力を高めます。

※自らの判断と責任で、諸課題に取り組むことができる力を備えたあま市の子どもに対する親しみやすい名称

施策2 人に思いやりを持ち、共に生きるあまっ子を育む

生命の尊さや価値を知り、自他の存在を尊重できる、こころ豊かなあまっ子を育てます。

持続可能な発展のための教育に取り組み、より良い社会づくりに参画するあまっ子を育てます。

施策3 開かれた学校づくり、特色ある学校づくりを進める

地域・家庭から愛される学校を目指し、地域・家庭・学校が連携できる開かれた学校づくりを進めます。

学校が所在する地域(学区)の伝統と教育財産(人・モノ)を生かし、地域に開かれた魅力ある学校づくりを進めます。

施策4 学校の教育環境の整備と充実に努める

安全・安心で快適な環境の中で学ぶことのできる、安全性や機能性の高い学校づくりを進めます。

施策5 共に考え、学び、楽しむ生涯学習社会を創る

「ずっと大好きなまち“あま”」の実現に向けて、個性豊かで活力に満ちた市民主体の芸術文化・生涯学習活動に親しむ社会づくりに取り組みます。

施策6 スポーツ環境の充実に努める

スポーツ参画人口の拡大・スポーツ実施率等の向上を目指し、市民がスポーツに関して「する」「みる」「ささえる」等様々な関わり方ができるよう、スポーツ環境の充実に努めます。